

表Ⅲ-4 性別

資格職種	性別		合計
	女性	男性	
助産婦	15.0	-	15.0
	100%		100%
看護婦(士)	83.0		83.0
	100%		100%
准看護婦(士)	173.0	3.0	176.0
	98.3%	1.7%	100%
その他	25.0	1.0	26.0
	96.2%	3.8%	100%
合計	296.0	4.0	300.0
	98.7%	1.3%	100%

表Ⅲ-5 夜勤の有無

資格職種	夜勤有無		合計
	夜勤有	夜勤無	
助産婦	10	5	15
	66.7%	33.3%	100%
看護婦(士)	35	47	82
	42.7%	57.3%	100%
准看護婦(士)	107	67	174
	61.5%	38.5%	100%
その他	18	8	26
	69.2%	30.1%	100%
合計	170	127	297
	57.2%	42.7%	100%

表Ⅲ-6 雇用の種類

資格職種	雇用種類			合計
	正規職員	臨時職員	パート	
助産婦	9	1	4	14
	64.3%	7.1%	28.6%	100%
看護婦(士)	53	5	23	81
	65.4%	6.2%	28.4%	100%
准看護婦(士)	133	11	29	173
	76.9%	6.4%	16.8%	100%
その他	15	1	10	26
	57.7%	3.8%	38.5%	100%
合計	210	18	66	294
	71.4%	6.1%	22.4%	100%

3 結果

(1) 診療所全体における看護業務の総遂行時間

表Ⅲ-7 は実際に遂行した看護業務の合計時間を職種毎の平均で示している。診療所全体では助産婦 485.0 分、看護婦（士）468.8 分、准看護婦（士）416.4 分、その他職種 423.3 分であった。担当場所別に見ると病棟においては助産婦 509.5 分、看護婦（士）549.9 分、准看護婦（士）484.4 分、その他職種 424.4 分で合計は 503.6 分であった。外来においては看護婦（士）389.8 分、准看護婦（士）383.1 分、その他職種 481.5 分で合計は 394.7 分であった。病棟と外来の兼務では助産婦 496.7 分、看護婦（士）518.1 分、准看護婦（士）414.0 分、その他職種 325.0 分で合計は 431.7 分であった。その他の担当場所については助産婦 180.0 分、看護婦（士）434.6 分、准看護婦（士）444.7 分で合計は 431.5 分であった。

表Ⅲ-7 各職種の看護業務の合計時間 (平均値：単位/分)

資格職種	病棟	外来	病棟と外来	その他	合計
助産婦	509.5	11.0	496.7	180.0	485.0
看護婦(士)	549.9	389.8	518.1	434.6	468.8
准看護婦(士)	484.4	383.1	414.0	444.7	416.4
その他	424.4	481.5	325.0	431.5	423.3
合計	503.6	394.7	431.7	95.0	435.8

以上のように職種別、担当場所別に看護業務の総遂行時間が異なるため、「休憩・仮眠」を除く業務の延べ遂行時間を 100%とし、各業務の遂行時間割合を用いて比較した。表Ⅲ-8 はその割合を示す。

表Ⅲ-8 担当場所別に見た各職種の業務遂行時間割合

(単位:%)

資格職種	担当場所	1	1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	2	3	4	5	6	7	8	8-1	8-2	8-3	9	10	11	12	
		診察の補助・介助	診察器具の準備・片付け	診察資料の準備・片付け	受付業務	予診・問診録の記載	薬局業務	患者の状態観察	検査の実施・補助	治療の補助・介助	生活援助	患者・家族への教育	職員間の情報伝達	病院経営・管理業務	物品管理	薬品管理	帳票類の管理・経理	環境整備	訪問看護	その他の業務	合計	
看護婦(士)	病棟	2.9	4.1	4.1	0.2	3.8	1.6	23.6	2.5	12.9	8.7	8.1	10.3		2.5	1.0	0.2	3.2	0.0	0.0	14.4	100.0
	外来	8.8	6.0	6.0	5.9	6.6	1.6	7.5	13.7	32.2	0.6	3.3	2.0		1.2	1.2	2.8	3.8	0.6	0.6	2.4	100.0
	病棟と外来	2.5	5.4	5.4	7.8	2.4	0.5	20.2	5.1	16.8	5.4	5.3	12.9		1.2	1.2	1.6	6.6	0.0	0.0	5.3	100.0
	その他	5.0	2.2	2.2	1.3	1.5	0.3	20.3	3.9	21.6	1.4	5.2	5.2		8.9	2.8	5.5	4.9	0.0	0.0	9.9	100.0
	合計	4.8	4.6	4.6	3.7	4.0	1.1	17.7	6.5	23.7	4.5	5.7	7.7		2.8	1.4	2.1	4.4	0.2	0.2	8.2	100.0
准看護婦(士)	病棟	5.7	1.3	1.3	0.1	1.2	0.5	22.7	3.9	9.2	17.4	4.8	8.3		1.0	0.7	1.6	3.2	0.0	0.0	18.5	100.0
	外来	8.3	4.2	4.2	9.5	4.0	1.4	8.8	13.3	28.0	0.4	3.4	1.9		2.3	2.2	1.1	6.3	0.8	0.8	4.3	100.0
	病棟と外来	7.8	4.2	4.2	1.6	3.7	2.0	17.1	6.3	23.0	2.8	5.5	5.2		2.6	2.1	0.8	6.2	1.4	1.4	7.6	100.0
	その他	4.6	2.4	2.4	1.6	1.9	4.3	19.6	3.4	23.9	2.3	2.9	4.9		6.2	2.0	0.0	5.5	0.0	0.0	17.8	100.0
	合計	7.2	3.5	3.5	4.2	3.2	1.7	15.4	8.1	22.0	4.7	4.3	4.5		2.6	1.9	1.0	5.6	0.8	0.8	9.6	100.0
助産婦	病棟	5.3	4.0	4.0	0.5	4.1	0.4	27.1	2.5	15.0	2.2	15.5	6.0		1.4	0.5	0.0	4.1	0.0	0.0	11.3	100.0
	病棟と外来	2.0	0.7	0.7	1.3	18.8	0.0	14.8	2.7	6.7	1.3	39.6	2.7		0.7	0.7	0.0	2.7	0.0	0.0	5.4	100.0
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7		33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	合計	4.5	3.2	3.2	0.7	7.0	0.3	24.7	2.5	12.9	2.0	20.5	5.6		2.1	0.6	0.0	3.7	0.0	0.0	9.8	100.0
その他	病棟	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	0.0	0.9	79.5	1.3	1.2		1.2	0.0	0.0	11.5	0.0	0.0	0.4	100.0
	外来	19.6	2.0	2.0	23.9	2.7	4.2	7.5	8.4	16.2	0.0	1.1	0.7		3.1	1.5	1.3	6.0	0.0	0.0	1.9	100.0
	病棟と外来	6.4	1.8	1.8	1.3	2.1	2.6	21.0	6.2	13.3	7.2	5.6	9.5		6.2	5.4	0.0	6.2	0.0	0.0	5.4	100.0
	合計	10.7	1.3	1.3	11.6	1.7	2.5	8.8	5.2	10.5	28.0	2.1	2.6		3.1	1.7	0.6	7.9	0.0	0.0	2.1	100.0
合計	病棟	4.1	2.6	2.6	0.2	2.5	0.8	21.9	2.8	10.7	17.8	7.5	8.0		1.6	0.7	0.7	4.2	0.0	0.0	14.0	100.0
	外来	9.8	4.4	4.4	10.3	4.6	1.7	8.3	12.8	27.7	0.4	3.1	1.8		2.1	1.8	1.6	5.6	0.6	0.6	3.5	100.0
	病棟と外来	6.2	4.2	4.2	3.1	4.0	1.6	18.0	5.9	20.2	3.6	7.0	7.2		2.3	2.0	0.9	6.2	0.9	0.9	6.8	100.0
	その他	4.7	2.3	2.3	1.4	1.7	2.5	20.1	3.6	21.0	1.9	4.1	5.2		7.7	2.3	2.4	5.1	0.0	0.0	14.1	100.0
	合計	6.6	3.6	3.6	4.5	3.5	1.5	16.1	7.0	28.1	6.4	5.5	5.4		2.6	1.6	1.2	5.3	0.5	0.5	8.5	100.0

※ 最も割合が多かった業務 2番目に割合が多かった業務

表Ⅲ-9 担当場所別にみた各職種の業務遂行時間割合(入院患者に対して) (単位:%)

資格職種	担当場所	1	1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	2	3	4	5	6	7	8	8-1	8-2	8-3	9	10	11	12
		診察の補助・介助	診察器具の準備・片付け	診察資料の準備・片付け	受付業務	予診・問診録の記載	薬局業務	患者の状態観察	検査の実施・補助	治療の補助・介助	生活援助	患者・家族への教育	職員・カンパニーの情報伝達	病院経営・管理業務	物品管理	薬品管理	帳票類の管理・経理	環境整備	訪問看護	その他の業務	合計
看護婦(士)	病棟		1.1	3.1	0.1	2.2	0.6	21.0	1.8	8.7	7.2	7.1	6.8		2.0	0.2	0.2	1.9	0.0	1.4	65.2
	外来					2.6						1.3									
	病棟と外来	0.4	2.5	0.0	1.0	1.0	0.1	10.9	0.3	4.6	3.3	2.2	2.5		0.6	0.4	0.4	1.8	0.0	2.6	33.5
准看護婦(士)	病棟		1.8	0.0	0.0	2.7		2.7	1.6	5.3	0.2	1.5	0.9		0.4	0.2	0.4	0.5	0.0	0.0	15.3
	外来																				
	病棟と外来	1.1	2.5	0.1	1.5	1.5	0.3	15.2	1.4	7.2	4.9	4.8	4.5		1.3	0.3	0.3	1.7	0.0	1.6	48.8
助産婦	病棟		0.8	0.7	0.0	0.0	0.2	18.3	2.8	6.6	16.7	3.7	5.4		0.6	0.2	0.0	2.7	0.0	13.9	72.7
	外来					7.8						15.7									
	病棟と外来	1.6	0.7	0.1	0.9	0.1	0.1	12.5	1.1	5.7	2.4	2.9	2.6		1.4	0.6	0.4	3.7	0.0	2.4	39.1
その他	病棟		0.4	0.1	0.0	0.1	0.1	5.3	0.1	0.2	0.1	1.0	0.0		0.1	0.1	0.0	0.8	0.0	0.1	8.5
	外来																				
	病棟と外来	1.2	0.6	0.1	0.5	0.2	0.2	13.8	1.5	5.2	6.7	3.1	3.2		1.0	0.4	0.2	3.1	0.0	5.8	46.4
その他	病棟		4.6	3.3	0.5	3.0	0.2	25.0	2.1	5.9	2.3	6.4	4.1		0.9	0.0	0.0	1.5	0.0	9.4	69.2
	外来																				
	病棟と外来	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	10.1	0.0	0.0	1.3	17.5	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	32.9
その他	病棟		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	外来																				
	病棟と外来	3.5	2.5	0.4	2.5	0.1	0.1	22.1	1.7	4.5	2.1	8.9	3.2		0.7	0.0	0.0	1.2	0.0	7.9	61.3
その他	病棟		0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	3.5	0.0	0.9	5.3	0.4	0.3		0.3	0.0	0.0	11.5	0.0	0.4	69.2
	外来											1.0						1.0			
	病棟と外来	0.3	0.8	0.3	2.1	1.0	1.0	13.9	4.1	10.3	3.1	4.6	3.6		2.1	0.0	0.0	1.5	0.0	0.8	48.2
合計	病棟		0.3	0.4	0.1	0.7	0.3	6.6	1.4	3.9	30.4	1.7	1.4		0.8	0.0	0.0	6.7	0.0	0.5	55.5
	外来																				
	病棟と外来	1.5	2.0	0.2	1.3	0.3	0.3	18.9	2.1	6.7	14.3	5.1	5.2		1.1	0.2	0.1	3.1	0.0	7.2	69.0
合計	病棟						7.6					8.2	1.3					1.3			
	外来		1.1	1.1	0.1	1.0	0.2	12.1	1.0	5.4	2.6	3.5	2.5		1.2	0.5	0.4	2.9	0.0	2.4	38.0
	病棟と外来	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.6	0.7	2.4	0.2	1.4	0.4		0.2	0.1	0.2	0.7	0.0	0.1	12.1
合計	病棟		1.3	1.4	0.1	1.0	0.2	14.5	1.5	5.7	7.5	4.1	3.5		1.1	0.3	0.2	2.8	0.0	4.3	49.5
	外来																				
	病棟と外来																				

※ ※ 最も割合の多かった業務 2番目に割合の多かった業務

(2) 担当場所別に見た各職種の看護業務割合

有床診療所では外来や病棟などの複数の場所が存在し、多くの職員はそれらを分担または複数の場所を担当する。担当場所により業務の内容・時間等が異なると考え、各業務内容毎の遂行時間については担当場所別に分析した。また、今回は診療所の中でも入院患者を有する有床診療所を対象としたため、診療所における全体の業務のうち、入院患者に対する業務の特徴を知るため入院患者に限定した業務遂行時間の調査も同時に行った。全体の場合と同様に「休憩・仮眠」を除く業務の延べ遂行時間を100%とし、入院患者に対して行った各業務の遂行時間割合を用いて比較した。表Ⅲ-9はその割合を示す。

1) 看護婦について

全体でみると看護婦の業務のうち最も多かったものは「治療の補助・介助」で21.9%、ついで「患者の状態観察」17.7%であった。担当場所別に見ると、病棟では「患者の状態観察」が最も多く23.6%を占め、ついで「治療の補助・介助」12.9%であった。外来担当では「治療の補助・介助」が32.2%で最も多く、次は「検査の実施・補助」13.7%であった。病棟と外来の兼務については「患者の状態観察」が最も多く20.2%であり、ついで「治療の補助・介助」が16.8%であった。その他の担当場所では「治療の補助・介助」が21.8%で最も多く、ついで「患者の状態観察」が20.3%であった。

入院患者に対する看護業務のみを見た場合でも全体の割合としては「患者の状態観察」が最も多く15.2%で次が「治療の補助・介助」7.2%と順位は逆転している。しかし担当場所別に見ると主な看護業務の内容は全体で見たときと同様であり、病棟担当では「患者の状態観察」21.0%、ついで「治療の補助・介助」8.7%であり、病棟と外来の兼務でも「患者の状態観察」10.9%、ついで「治療の補助・介助」4.6%、その他の担当では「治療の補助・介助」が最も多く5.3%、次に「患者の状態観察」2.7%であった。

2) 准看護婦について

准看護婦の業務については全体で見た場合、「治療の補助・介助」22.0%が最も多く、ついで「患者の状態観察」15.4%であった。担当場所別に見ると病棟では「患者の状態観察」が22.7%で最も多く、次に「生活援助」が17.4%を占めた。外来担当で最も多かったものは「治療の補助・介助」で28.0%、ついで「検査の実施・補助」13.3%であった。病棟と外来の兼務の場合も「治療の補助・介助」23.0%が最も多く、次に「患者の状態観察」が17.1%であった。その他の担当場所についても「治療の補助・介助」が最も多く20.9%、ついで「患者の状態観察」19.6%であった。

入院患者に対する看護業務のみを見た場合、全体としては「患者の状態観察」13.6%が最も多く、ついで「生活援助」16.7%であった。病棟担当では「患者の状態観察」が18.3%と最も多く、次に「生活

援助」6.7%であった。病棟と外来の兼務についても最も多いものは「患者の状態観察」12.5%であり、ついで「治療の補助・介助」5.7%であった。その他の担当場所については最も多いものは同じく「患者の状態観察」5.3%であったが、次に多かったのは「環境整備」であった。

3) 助産婦について

今回は看護婦と准看護婦の看護業務を中心とした調査であり、助産婦については看護職に比べ回答者数が少なかったため、この調査の結果が診療所における助産婦の行っている看護業務内容を表しているとは言い難い。そのため、結果として全体の傾向を述べるまでにとどめることとする。

助産婦の行った看護業務のうち、最も多かったのは「患者の状態観察」であった。次に多かったものは「患者・家族への対応・教育」で、病棟と外来の兼務についてのみでは最も多くの割合を占めている。その他、他職種ではあまり見ることのなかった「予診・問診・診療録の記録」や「物品管理」、「職員間のカンファレンス」なども多い傾向が見られる。

4) その他の職種について

今回は看護婦と准看護婦の看護業務を中心とした調査であり、助産婦と同様、その他の職種についても回答者数が少なく、この調査の結果が診療所における准看護婦の行っている看護業務内容を表しているとは言い難い。そのためその他の職種についても全体の傾向を述べるのみとする。

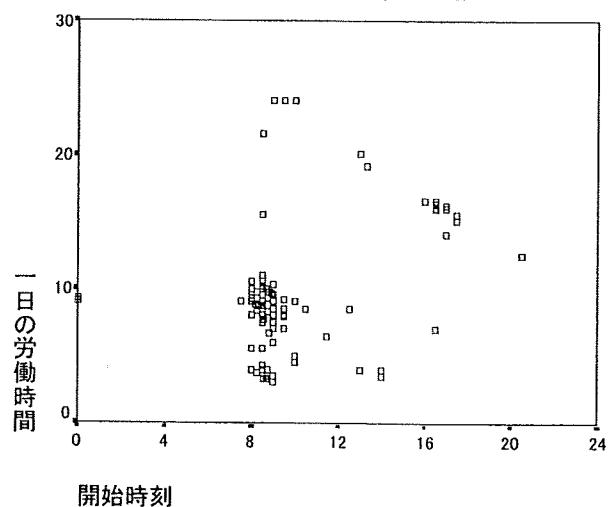
その他の職種が行った看護業務は看護職と比べて担当場所によって内容にばらつきがあった。病棟を含む担当場所では看護職と同様に「患者の状態観察」や「生活援助」、「治療の補助・介助」等が多くの割合を占める業務として挙がってくるが、「受付業務」や「診察器具の準備・片付け」、「環境整備」といったものが見られた。

(3) 日夜勤別に見た各職種の業務遂行時間割合

看護婦の業務内容は勤務時間帯によって異なる。特に診療所では日勤で大きな割合を占める外来業務が夜勤ではなくなることからその違いは大きいと考え、今回は日勤勤務と夜勤（当直）勤務に分けて比較した。

勤務区分は図Ⅲ-1の散布図を参考に、午前10時前に勤務を開始し労働時間が10時間未満の群を日勤勤務群、午前10時以降に勤務を開始し労働時間が10時間以上の群を夜勤（当直）勤務群と2群に分けて比較した。

図Ⅲ-1 勤務形態



表Ⅲ-10 日夜勤別に見た各職種の業務遂行時間割合

(単位:%)

勤務形態	資格職種	(単位:%)																	
		1 診察の補助・介助	1-1 診察器具の準備・片付け	1-2 診察資料の準備・片付け	1-3 受付業務	1-4 予診・問診録の記載	1-5 薬局業務	2 患者の状態観察	3 検査の実施・補助	4 治療の補助・介助	5 生活援助	6 患者・家族への教育	7 職員間の情報伝達	8 医院経営・管理業務	8-1 物品管理	8-2 薬品管理	8-3 帳票類の管理・経理	9 環境整備	10 訪問看護
看護婦(士)	日勤	5.7	5.2	5.1	4.9	1.5	12.9	8.3	19.6	4.5	7.3	5.1	3.7	1.7	2.7	5.6	0.2	6.1	100.0
	夜勤(当直)	2.3	4.7	0.5	2.3	0.3	30.8	1.6	15.3	6.4	2.7	11.1	1.0	0.7	0.7	1.8	0.0	17.9	100.0
	合計	4.9	5.1	4.0	4.3	1.2	17.2	6.6	18.6	5.0	6.2	6.6	3.0	1.5	2.2	4.7	0.2	8.9	100.0
准看護婦(士)	日勤	6.8	3.8	5.7	3.0	1.7	12.9	9.3	22.8	4.2	4.6	3.9	2.6	1.9	1.1	5.8	0.6	9.3	100.0
	夜勤(当直)	9.0	1.1	0.1	2.7	1.8	32.7	2.0	7.0	11.6	1.8	7.8	0.7	0.9	0.4	3.0	0.0	17.5	100.0
	合計	7.1	3.4	5.0	3.0	1.7	15.3	8.4	20.9	5.1	4.3	4.4	2.4	1.8	1.0	5.5	0.6	10.3	100.0
助産婦	日勤	4.0	1.1	0.6	3.7	0.0	24.9	3.1	8.8	3.0	22.8	5.8	2.7	0.4	0.0	4.7	0.0	14.6	100.0
	夜勤(当直)	7.3	10.2	1.1	3.4	1.1	32.8	1.7	28.8	0.0	4.0	5.1	1.1	1.1	0.0	2.3	0.0	0.0	100.0
	合計	4.9	3.5	0.8	3.6	0.3	27.9	2.7	14.1	2.2	17.8	5.6	2.3	0.6	0.0	4.0	0.0	10.7	100.0
その他	日勤	11.4	1.4	10.9	0.8	1.0	8.3	5.0	10.5	30.5	2.3	2.6	2.7	1.6	0.6	8.4	0.0	2.3	100.0
	その他	11.4	1.4	10.9	0.8	1.0	8.3	5.0	10.5	30.5	2.3	2.6	2.7	1.6	0.6	8.4	0.0	2.3	100.0
合計	日勤	6.8	3.8	5.8	3.4	1.5	13.1	8.2	19.9	6.9	6.1	4.2	2.9	1.7	1.4	5.9	0.4	8.0	100.0
	夜勤(当直)	5.6	3.8	0.4	2.5	1.0	31.8	1.8	13.3	7.9	2.4	9.1	0.9	0.9	0.5	2.3	0.0	15.9	100.0
	合計	6.6	3.8	5.0	3.2	1.4	16.0	7.2	18.9	7.0	5.5	5.0	2.6	1.6	1.3	5.4	0.4	9.2	100.0

※ 最も割合の多かった業務 2番目に割合の多かった業務

表Ⅲ-11 日夜勤別に見た各職種の業務遂行時間割合(入院患者に対して)

勤務形態	資格職種	(単位:%)																			
		1 診察の補助・介助	1-1 診察器具の準備・片付け	1-2 診察資料の準備・片付け	1-3 受付業務	1-4 予診・問診・記録の記載	1-5 薬局業務	2 患者の状態観察	3 検査の実施・補助	4 治療の補助・介助	5 生活援助	6 患者・家族への教育	7 職員間の情報伝達	8 医院経営・管理業務	8-1 物品管理	8-2 薬品管理	8-3 帳票類の管理・経理	9 環境整備	10 訪問看護	11 その他の業務	12 合計
看護婦(士)	日勤	1.4	1.7	0.0	1.4	0.5	7.3	1.6	5.2	4.6	6.2	2.5	1.6	1.6	0.3	0.3	1.9	0.0	0.0	1.7	38.1
	夜勤(当直)	0.5	4.1	0.2	1.8	0.2	28.9	1.1	9.5	5.7	2.3	8.5	0.8	0.8	0.2	0.4	1.5	0.0	0.0	1.5	67.0
	合計	1.2	2.7	0.1	1.6	0.4	15.5	1.5	7.0	5.2	5.1	4.7	1.4	1.4	0.3	0.4	1.9	0.0	0.0	1.7	50.7
准看護婦(士)	日勤	1.5	0.7	0.1	0.4	0.2	10.4	1.7	4.6	6.0	3.1	2.3	1.2	1.2	0.5	0.2	2.9	0.0	0.0	3.5	39.1
	夜勤(当直)	0.6	0.5	0.1	1.0	0.1	32.4	0.9	6.2	11.6	1.5	7.0	0.7	0.7	0.4	0.4	1.6	0.0	0.0	17.5	82.4
	合計	1.4	0.7	0.1	0.6	0.2	15.0	1.6	5.0	7.3	2.9	3.3	1.1	1.1	0.5	0.3	2.7	0.0	0.0	6.4	48.8
助産婦	日勤	3.4	0.9	0.2	2.5	0.0	23.0	2.2	6.7	2.7	10.2	4.5	2.2	1.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	11.7	70.7
	夜勤(当直)	5.1	7.9	1.1	3.4	0.6	27.1	0.6	0.0	1.1	3.4	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.9
	合計	3.8	2.8	0.5	2.7	0.2	24.1	1.8	4.9	2.3	8.4	3.5	1.8	0.8	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	8.6	65.5
その他	日勤	0.3	0.4	0.1	0.7	0.4	6.9	1.4	4.1	31.7	1.8	1.4	0.9	0.9	0.0	0.0	7.0	0.0	0.0	0.5	58.0
	その他	0.3	0.4	0.1	0.7	0.4	6.9	1.4	4.1	31.7	1.8	1.4	0.9	0.9	0.0	0.0	7.0	0.0	0.0	0.5	58.0
合計	日勤	1.5	1.0	0.1	0.9	0.3	10.3	1.7	4.9	7.9	4.5	2.5	1.3	1.3	0.3	0.2	3.0	0.0	0.0	3.4	43.6
	夜勤(当直)	1.0	3.0	0.2	1.6	0.2	30.2	1.0	7.1	7.7	2.1	7.0	0.7	0.7	0.3	0.4	1.4	0.0	0.0	8.0	71.7
	合計	1.5	1.5	0.1	1.1	0.2	15.5	1.6	5.6	8.1	4.0	3.7	1.2	1.2	0.3	0.2	2.7	0.0	0.0	4.7	52.0

※ 最も割合が多かった業務 2番目に割合が多かった業務

1) 看護婦について

看護婦の業務内容を日勤・夜勤（当直）勤務別に見ると、日勤では「治療の補助・介助」が 19.6%で最も多く、「患者の状態観察」が 12.9%で次に多かった。夜勤では逆に「患者の状態観察」が 30.8%で次に「治療の補助・介助」15.3%となっている。

特に入院患者のみに対する看護業務に限定した場合には、日勤・夜勤（当直）ともに「患者の状態観察」が最も多く、日勤 7.3%、夜勤（当直）28.9%であった。次に多い業務は日勤・夜勤（当直）で異なり、日勤では「患者・家族への対応・教育」6.2%、夜勤（当直）では「治療の補助・介助」9.5%であった。

2) 准看護婦について

准看護婦についても日勤で最も多かった業務は「治療の補助・介助」22.8%、次に「患者の状態観察」12.9%であった。夜勤（当直）においては「患者の状態観察」が 32.7%を占め最も多く、ついで「生活援助」11.6%であった。

入院患者に対する業務のみを見ると、日勤・夜勤（当直）ともに主な業務内容は同様であり、最も多かった業務は「患者の状態観察」で日勤 10.4%、夜勤（当直）32.4%であった。つぎは「生活援助」が日勤 6.0%、夜勤（当直）11.6%であった。

3) 助産婦について

助産婦については担当場所別の分析と同様、今回の結果が一般の診療所における助産婦の看護業務を代表しているとは言い難いため、ここでも全体の傾向を述べるのみとする。

「患者の状態観察」が日勤・夜勤（当直）ともに最も多く、次に多かった業務は日勤では「患者・家族への対応・教育」、夜勤（当直）では「治療の補助・介助」であった。

入院患者に対する業務を見ても、日勤・夜勤ともに「患者の状態観察」が最も多く、次に多かった業務は日勤では「患者・家族への対応・教育」、夜勤（当直）では「診察資料の準備・片付け」であった。

4) その他の職種について

その他の職種については夜勤（当直）勤務と答えた者はなく、日勤勤務のみであった。その他の職種についても一般性が弱いため、ここでは全体の傾向のみを述べることにする。

最も多かった業務は「生活援助」であり、次に「診療器具の準備・片付け」であった。入院患者に対しても同様に「生活援助」が最も多かったが、次に多かったのは「患者の状態観察」であった。

4 考察

(1) 診療所における看護職の業務の特徴

1) 担当場所別に見た看護業務割合

本研究では実際に看護業務を行った者を助産婦・看護婦（士）・准看護婦（士）・その他の職種に分けて分析した。診療所における看護職の役割を知るため、特に看護婦（士）・准看護婦（士）の業務を中心に担当場所別に考察する。病棟担当ではその他を除く全ての職種において「患者の状態観察」が多かった。一般病院において行われた看護業務量の実態を調査した研究では全体の業務のうちでは「観察」は3位であったが、直接看護の中では最も多いという結果が出ている。業務内容の分類が異なるため直接の比較はできないが、看護業務のうちの多くを「患者の状態観察」が占めていることは診療所でも同様であることが分かった。一般病院では次に食事・排泄等の援助を含む項目が上位を占めていたが、診療所における病棟担当では「生活援助」はその他の職種の看護業務の7割以上を占めており、そのため看護職が生活援助に関わる割合は減少していると考えられる。しかし、今回のその他の職種についての結果は一般性を欠くため、このような分担がどの診療所でも行われているかは明らかでない。外来担当では「治療の補助・介助」「検査の実施・補助」が看護職の主な業務であり、「受付」「診療器具の準備・片付け」をその他の職種が分担していた。病棟と外来のように複数の担当場所を持つ場合にはそれぞれの職種の主となる業務が異なり、それぞれを分担して行っていることが分かった。

特に入院患者に対する業務ではどの担当場所においても「患者の状態観察」が主であり、全体で行われている業務よりもそれぞれの職種間で内容に差はみられず、2～6の辺りの業務に集中していた。これは診療所全体における業務を見た場合の病棟担当の業務内容を反映しており、ここでも入院患者に対する看護業務の主な内容については他文献との比較から、一般病院との違いは小さいことが分かった。また助産婦については「患者・家族への対応・教育」が他の職種に比べ多いことが特徴的であった。

2) 日夜勤別に見た看護業務割合

全体に主となる業務内容は「患者の状態観察」「治療の補助・介助」であるが、日勤勤務群では「治療の補助・介助」が、夜勤（当直）勤務群では「患者の状態観察」と最も多い業務に違いがあった。これは入院患者に対する業務のみを見た結果から、その合計時間が日勤においては看護婦（士）も准看護婦（士）も4割未満であり、日勤勤務においては約6割が外来患者に対する業務であるためと考えられる。また夜勤（当直）勤務群において「その他の業務」に相当する種々の業務が増加し、他の業務内容を上回っていることも特徴的である。また、日勤勤務群ではその他の職種が行っていた「生

活援助」は夜勤（当直）勤務群では准看護婦（士）が主に行っており、看護婦（士）は「治療の補助・介助」「職員間の情報伝達・カンファレンス」の割合が多くなっていることから、日勤勤務時よりも看護婦（士）と准看護婦（士）の間での業務分担が出来ていると思われる。一般病院における看護業務量調査の結果では「看護記録」の割合の多いことを複数の研究が報告しているが、今回の調査では看護記録を含む「職員間の情報伝達・カンファレンス」についてはさほど時間的割合は多くなかったものの、主に看護婦（士）が担当していることが分かった。

5 まとめ

診療所における看護職の役割を明らかにするため業務量調査を行った結果、有床診療所における看護婦（士）・准看護婦（士）の主な業務は「治療の補助・介助」および「患者の状態観察」であり、日勤では「治療の補助・介助」が、夜勤では「患者の状態観察」を主に行っていることがわかった。

文献

- 1) 吉岡光子(1997): タイムスタディ法による看護業務量の実態調査—主体的な看護実践に向けて—, 徳島県中央病院医学雑誌, 19(1): 45-49.
- 2) 筒井孝子(1998): 看護機能と診療報酬上の評価方法, 病院 57(4): 323-327.
- 3) 浅野水器子(1999): 看護業務量調査に基づく業務改革計画の策定, 看護管理 9(6): 484-490.

第Ⅲ部 資料

- 資料Ⅲ－1 担当場所別にみた各職種の業務遂行平均時間
- 資料Ⅲ－2 担当場所別にみた各職種の業務遂行平均時間（入院患者に対して）
- 資料Ⅲ－3 日夜勤別にみた各職種の業務遂行平均時間
- 資料Ⅲ－4 日夜勤別にみた各職種の業務遂行平均時間（入院患者に対して）

資料Ⅲ-1 担当場所別にみた各職種の業務遂行平均時間

(単位:分)

資格職種	担当場所	1	1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	2	3	4	5	6	7	8	8-1	8-2	8-3	9	10	11	12
		診察の補助・介助	診察器具の準備・片付け	診察資料の準備・片付け	受付業務	予診・問診録の記載	薬局業務	患者の状態観察	検査の実施・補助	治療の補助・介助	生活援助	患者・家族への教育	職員間の情報伝達	医院経営・管理業務	物品管理	薬品管理	帳票類の管理	環境整備	訪問看護	その他の業務	合計
看護婦(士)	病棟	15.7	22.6	1.1	21.1	8.6	130.0	13.5	70.7	47.6	44.8	56.7	13.7	5.7	1.3	17.6	0.0	79.3	549.9		
	外来	34.1	23.2	23.0	25.9	6.1	29.3	53.4	123.4	2.5	12.9	7.7	4.6	4.5	10.9	14.8	2.1	9.5	389.8		
	病棟と外来	13.1	27.8	40.3	12.2	2.5	104.7	26.6	87.2	28.1	27.2	66.9	5.9	6.3	8.1	34.1	0.0	27.2	518.1		
	その他	21.9	9.6	5.5	6.5	1.2	88.1	16.8	94.6	6.2	22.7	22.7	38.5	12.3	23.8	21.2	0.0	43.1	434.6		
	合計	22.6	21.8	17.3	18.6	5.3	82.9	30.6	97.0	21.2	26.5	36.1	13.0	6.4	9.7	20.5	0.8	38.6	468.8		
准看護婦(士)	病棟	27.7	6.2	0.6	5.8	2.3	103.3	19.0	44.4	84.1	23.5	40.2	4.6	3.5	7.7	15.4	0.0	89.7	484.4		
	外来	31.6	16.1	36.5	15.4	5.2	33.7	51.0	107.1	1.6	12.9	7.3	8.8	8.4	4.2	24.1	3.0	16.3	383.1		
	病棟と外来	32.2	17.5	6.6	15.5	8.2	70.8	26.2	95.3	11.6	22.9	21.3	10.6	8.8	3.4	25.8	5.9	31.4	414.0		
	その他	20.3	10.6	6.9	8.4	19.1	87.2	15.3	92.8	10.0	12.8	21.6	27.5	8.8	0.0	24.4	0.0	79.1	444.7		
	合計	30.0	14.4	17.6	13.1	7.1	64.1	33.8	91.4	19.4	18.0	18.8	10.6	7.8	4.1	23.3	3.2	39.8	416.4		
助産婦	病棟	26.8	20.5	2.7	20.9	1.8	138.2	12.7	76.4	11.4	79.1	30.5	7.3	2.7	0.0	20.9	0.0	57.7	509.5		
	病棟と外来	10.0	3.3	6.7	93.3	0.0	73.3	13.3	33.3	6.7	196.7	13.3	3.3	3.3	0.0	13.3	0.0	26.7	496.7		
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	30.0	30.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	180.0		
	合計	21.7	15.7	3.3	34.0	1.3	120.9	12.0	62.7	9.7	99.3	27.0	10.0	2.7	0.0	18.0	0.0	47.7	485.0		
その他	病棟	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	15.0	0.0	3.8	37.5	5.6	5.0	5.0	0.0	0.0	48.8	0.0	1.9	424.4		
	外来	94.5	9.5	115.0	13.0	20.0	36.0	40.5	78.0	0.0	5.5	3.5	15.0	7.0	6.0	29.0	0.0	9.0	481.5		
	病棟と外来	20.8	5.8	4.2	6.7	8.3	88.3	20.0	43.3	23.3	18.3	30.8	20.0	17.5	0.0	20.0	0.0	17.5	325.0		
	合計	45.2	5.4	49.0	7.1	10.4	37.1	21.9	44.6	18.3	8.8	10.8	12.9	7.3	2.5	33.3	0.0	8.8	423.3		
合計	病棟	20.4	13.3	1.0	12.7	4.1	140.1	13.9	53.7	89.8	37.6	40.1	8.2	3.7	3.4	21.0	0.0	70.7	503.6		
	外来	38.5	17.4	40.5	18.1	6.9	32.7	50.6	109.3	1.7	12.1	7.0	8.3	7.2	6.2	22.0	2.5	13.7	394.7		
	病棟と外来	26.5	18.1	13.3	17.1	6.7	77.7	25.3	87.2	15.7	30.1	31.1	10.1	8.7	4.0	26.5	4.0	29.3	431.7		
	その他	20.3	9.8	6.1	7.3	10.7	86.7	15.4	90.5	8.0	17.7	22.3	33.3	10.0	10.3	22.2	0.0	60.8	431.5		
	合計	28.7	15.8	19.4	15.3	6.6	70.2	30.7	87.4	28.0	24.0	23.6	11.5	7.1	5.3	23.1	2.0	37.2	435.8		

※ 最も割合の多かった業務 2番目に割合の多かった業務

資料Ⅲ-3 日夜勤別に見た各職種の業務遂行平均時間 (単位:分)

資格職種	勤務形態	1	1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	2	3	4	5	6	7	8	8-1	8-2	8-3	9	10	11	12
		診察の補助・介助	診察器具の準備・片付け	診察資料の準備・片付け	受付業務	予診・問診・診療録の記載	薬局業務	患者の状態観察	検査の実施・補助	治療の補助・介助	生活援助	患者・家族への教育	職員の情報伝達	病院経営・管理業務	物品管理	薬品管理	帳票類の管理・経理	環境整備	訪問看護	その他の業務	合計
看護婦(士)	日勤	22.9	20.9	20.7	19.9	6.2	51.9	33.3	79.1	18.1	29.4	20.6	14.8	6.8	10.7	22.6	0.9	24.4	403.1		
	夜勤(当直)	17.3	35.5	3.6	16.8	2.0	230.0	11.8	114.6	47.7	20.0	83.2	7.7	5.5	5.5	13.2	0.0	133.6	747.9		
	合計	22.1	23.0	18.2	19.5	5.6	78.0	30.1	84.3	22.5	28.0	29.8	13.7	6.6	9.9	21.2	0.8	40.4	453.7		
准看護婦(士)	日勤	26.7	14.8	22.5	11.8	6.6	50.7	36.4	89.4	16.5	18.1	15.4	10.3	7.3	4.3	22.7	2.5	36.5	392.5		
	夜勤(当直)	53.3	6.7	0.4	15.8	10.8	33.8	11.7	41.7	68.8	10.4	46.3	4.2	5.4	2.5	17.9	0.0	103.8	593.3		
	合計	28.9	14.1	20.6	12.1	7.0	62.6	34.4	85.4	20.8	17.5	18.0	9.8	7.2	4.2	22.3	2.3	42.1	409.3		
助産婦	日勤	16.3	4.6	2.5	15.0	0.0	101.7	12.5	35.8	12.1	93.3	23.8	10.8	1.7	0.0	19.2	0.0	59.6	408.8		
	夜勤(当直)	65.0	90.0	10.0	30.0	10.0	290.0	15.0	255.0	0.0	35.0	45.0	10.0	10.0	0.0	20.0	0.0	0.0	885.0		
	合計	23.2	16.8	3.6	17.1	1.4	288.6	12.9	67.1	10.4	85.0	26.8	10.7	2.9	0.0	19.3	0.0	51.1	476.8		
その他	日勤	46.3	5.7	44.1	3.0	3.9	33.5	20.2	42.6	123.5	9.1	10.7	10.9	6.3	2.6	33.9	0.0	9.1	405.4		
	合計	46.3	5.7	44.1	3.0	3.9	33.5	20.2	42.6	123.5	9.1	10.7	10.9	6.3	2.6	33.9	0.0	9.1	405.4		
	夜勤(当直)	27.1	15.0	23.1	13.3	5.9	52.0	32.7	79.1	27.4	24.3	16.8	11.7	6.8	5.7	23.6	1.7	31.6	397.6		
合計	日勤	38.4	26.0	2.6	17.4	6.9	217.4	12.0	90.8	54.0	16.6	62.4	6.2	5.8	3.6	16.0	0.0	108.6	684.7		
	夜勤(当直)	28.2	16.1	21.1	13.7	6.0	68.1	30.7	80.2	30.0	23.5	21.3	11.1	6.7	5.5	22.9	1.5	39.1	425.6		
	合計	28.2	16.1	21.1	13.7	6.0	68.1	30.7	80.2	30.0	23.5	21.3	11.1	6.7	5.5	22.9	1.5	39.1	425.6		

※ 最も割合の多かった業務 2番目に割合の多かった業務

資料Ⅲ-4 日夜勤別に見た各職種の仕事遂行平均時間(入院患者に対して)

(単位:分)

資格職種	勤務形態	1	1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	2	3	4	5	6	7	8	8-1	8-2	8-3	9	10	11	12
		診察の補助・介助	診察器具の準備・片付け	診察資料の準備・片付け	受付業務	予診・問診録の記載	薬局業務	患者の状態観察	検査の実施・補助	治療の補助・介助	生活援助	患者・家族への教育	職員間の情報伝達	病院経営・管理業務	物品管理	薬品管理	帳票類の管理・経理	環境整備	訪問看護	その他の業務	合計
看護婦(士)	日勤	5.8	6.8	0.0	5.5	1.8	29.4	6.5	20.8	18.5	24.9	9.9	6.5	1.0	1.3	7.7	0.0	6.9	153.6		
	夜勤(当直)	3.6	30.9	1.4	13.6	1.1	216.4	8.0	70.9	42.3	17.3	63.2	5.9	1.8	2.7	10.9	0.0	10.9	500.9		
	合計	5.3	12.1	0.3	7.3	1.6	70.5	6.9	31.6	23.7	21.4	6.4	1.2	1.6	8.4	0.0	7.8	230.0			
准看護婦(士)	日勤	5.9	2.6	0.3	1.7	0.7	49.7	6.8	18.1	23.4	12.2	9.2	4.5	1.8	0.8	11.5	0.0	13.9	153.6		
	夜勤(当直)	3.3	2.9	0.4	5.8	0.8	192.1	5.4	36.7	68.8	9.2	41.3	4.2	2.1	2.5	9.6	0.0	103.8	488.8		
	合計	5.5	2.6	0.3	2.3	0.7	51.3	6.6	20.6	29.7	11.8	13.6	4.5	1.8	1.0	11.2	0.0	26.3	199.8		
助産婦	日勤	13.8	3.8	0.8	10.0	0.0	94.2	9.2	27.5	10.8	41.7	18.3	4.2	0.0	0.0	7.1	0.0	47.9	289.2		
	夜勤(当直)	45.0	70.0	10.0	30.0	5.0	240.0	5.0	0.0	10.0	30.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	450.0		
	合計	18.2	13.2	2.1	12.9	0.7	115.0	8.6	23.6	10.7	40.0	16.4	3.6	0.0	0.0	6.1	0.0	41.1	312.1		
その他	日勤	1.1	1.8	0.4	2.9	1.4	27.9	5.7	16.4	128.6	7.3	5.7	3.6	0.0	0.0	28.3	0.0	2.1	235.0		
	合計	1.1	1.8	0.4	2.9	1.4	27.9	5.7	16.4	128.6	7.3	5.7	3.6	0.0	0.0	28.3	0.0	2.1	235.0		
	夜勤(当直)	6.0	3.8	0.3	3.6	1.0	40.8	6.8	19.5	31.5	17.7	9.8	5.0	1.3	0.8	11.8	0.0	13.7	173.4		
合計	夜勤(当直)	6.8	20.6	1.6	11.2	1.3	206.6	6.5	48.8	52.4	14.4	48.0	4.6	1.8	2.4	9.4	0.0	54.6	491.0		
	合計	6.2	6.3	0.5	4.8	1.0	65.8	6.8	23.9	34.6	17.2	15.6	4.9	1.3	1.0	11.5	0.0	19.9	221.5		

※ 最も割合の多かった業務 2番目に割合の多かった業務

診療所における看護職員の役割と業務

第Ⅳ部

有床診療所で働くことの利点と生活で大切にしていること —看護職員への質問紙調査の結果—

要旨

本研究は有床診療所に勤務する看護職員らが有床診療所で働くことの利点をどのように認識しているか、また、生活で大切にしていることは何かを明らかにすることを目的に実施した。S 県内の診療所 443 施設に診療所で働くことの利点や生活で大切にしていることを尋ねる質問紙を郵送配布したところ、88 施設（19.9%）に勤務する看護職員 307 名から有効回答があり、うち、性別および資格・職種に回答した 300 名を分析対象とした。その結果、有床診療所に勤務する看護職員は、家族、仕事、健康を大切にしながら生活しており、通勤に便利なところに住み、友好的な雰囲気職場で、地域の患者・家族の生活を理解し余裕をもって看護サービスを提供できることを診療所の利点であると感じていることがわかった。

1 はじめに

診療所に勤務する看護職を対象とした研究や調査はこれまでにほとんど実施されておらず、診療所に勤務する看護職が診療所を職場としてどのように認識し、どのようなことを大切にしながら生活しているのかは過去に明らかにされていない。

本調査は、有床診療所に勤務する看護職員らが有床診療所で働くことの利点をどのように認識しているか、また、生活で大切にしていることは何かを明らかにすることを目的とした。

2 方法

(1) 対象

本研究は、S 県内の診療所 443 施設において、各施設で設定した調査日に看護業務に携わった全職員を対象とした。有効回答は 88 施設（19.9%）に勤務する看護職員 307 名分であった。

(2) データ収集

平成 12 年 11 月に対象施設に質問紙を郵送し、各施設で設定した調査日（11 月下旬～12 月上旬）に

看護業務に携わった全職員を対象に、郵送法による自記式質問紙調査を実施した。

回答者には、「診療所で働くことの利点だと感じていること」について、23の選択肢（表IV-1 参照）から該当するもの全てを選択してもらった。また、「人生や生活の中で大切にしていること」について、8の選択肢（表IV-8 参照）から3つ、順位をつけて選択してもらった。また、回答者の資格・職種、年齢、性別、経験年数、夜勤の有無など属性についても尋ねた。

（3）データ分析

回答者のうち性別および資格・職種に回答した300名を分析対象とした。すべての項目について単純集計を行った。また、比率の差を検定するためにFisherの正確確率検定、あるいは一元配置の分散分析後にScheffeの多重比較を実施した。

3 結果

（1）診療所で働くことの利点

1) 全体の傾向（女性看護職員のみ）

回答者の大半は女性であったため、以下の分析は断りが無い場合は女性のみ限定して行った。過半数が診療所で働くことの利点と感じていたのは、「通勤が便利である」(57.4%)、「勤務時間や休暇を決定する際に自分の希望や都合が反映される」(55.7%)、「職員の間で友好的な雰囲気がある」(55.4%) ことであった。また、「超過勤務(残業等)が少ない」(39.9%)、「自分の行った仕事について患者や家族から評価される」(36.1%)、「時間的に余裕をもって患者と接することができる」(33.4%)、「仕事の負担が重過ぎない」(33.1%)、「自分に割り当てられた仕事の内容や責任が明確である」(33.1%)については30%以上の人、「地域社会と密着したサービス提供ができる」(28.7%)、「これまでに学んだ技能や知識を用いることができる」(28.4%)、「仕事にやりがいを感じる」(28.4%)、「患者や家族と継続して関わるができる」(25.0%)については25%以上の人診療所で働くことの利点であると感じていた。一方、「奨学金制度がある」(1.0%)、「十分な人員や機器、材料が用意されている」(7.4%)、「自分の行った仕事について上司や同僚から評価される」(7.8%)ことを利点と感じている人は少なかった。

表IV-1 診療所で働くことの利点であると回答した人数と割合（複数回答・女性のみ）

利点と感じていること	人数	%
		n=296
1 地域社会と密着したサービス提供ができる	85	28.7
2 方針やサービスに共感できる職場を選ぶことができる	52	17.6
3 給与・賞与がよい	35	11.8
4 休暇が充分にある	67	22.6
5 超過勤務(残業等)が少ない	118	39.9
6 夜勤の頻度が少ない	63	21.3
7 勤務時間や休暇を決定する際に自分の希望や都合が反映される	165	55.7
8 通勤が便利である	170	57.4
9 奨学金制度がある	3	1.0
10 十分な人員や機器, 材料が用意されている	22	7.4
11 研修や教育への参加機会がある	47	15.9
12 仕事の負担が重過ぎない	98	33.1
13 時間的に余裕をもって患者と接することができる	99	33.4
14 自分に割り当てられた仕事の内容や責任が明確である	98	33.1
15 自分の仕事の目標や目的が明確である	51	17.2
16 自分のやりたい方法で仕事を行うことができる	43	14.5
17 仕事の方針や方法について自由に意見が言える	70	23.6
18 これまでに学んだ技能や知識を用いることができる	84	28.4
19 仕事にやりがいを感じる	84	28.4
20 職員の間には友好的な雰囲気がある	164	55.4
21 自分の行った仕事について上司や同僚から評価される	23	7.8
22 自分の行った仕事について患者や家族から評価される	107	36.1
23 患者や家族と継続して関わることができる	74	25.0

2) 設置主体別

診療所の設置主体を個人、医療法人、その他(その他の法人、その他の国、市町村、済生会)に分けてみると、個人の看護職員は医療法人の看護職員に較べて「仕事の負担が重過ぎない」(個人 40.7%, 医療法人 25.0%)と感じていた(p<0.05)。一方、医療法人の看護職員は個人の看護職員に較べて「自分に割り当てられた仕事の内容や責任が明確である」(医療法人 40.0%, 個人 26.9%)ことを利点と感じていた(p<0.05)。「奨学金制度がある」ことを利点と感じているのは個人の看護職員(2.1%)であった。しかし、全体的には個人、医療法人との相違はほとんどなかった。

表IV-2 設置主体別にみた診療所で働くことの利点であると回答した割合(複数回答・女性のみ)

利点と感じていること	計 (%)			
	個人 n=145	医療法人 n=140	その他 n=11	計 n=296
1 地域社会と密着したサービス提供ができる	27.6	31.4	9.1	28.7
2 方針やサービスに共感できる職場を選ぶことができる	22.1	13.6	9.1	17.6
3 給与・賞与がよい	14.5	8.6	18.2	11.8
4 休暇が充分にある	22.1	23.6	18.2	22.6
5 超過勤務(残業等)が少ない	40.7	37.9	54.5	39.9
6 夜勤の頻度が少ない	22.8	20.0	18.2	21.3
7 勤務時間や休暇を決定する際に自分の希望や都合が反映される	51.0	61.4	45.5	55.7
8 通勤が便利である	57.2	55.7	81.8	57.4
9 奨学金制度がある	2.1			1.0
10 十分な人員や機器, 材料が用意されている	7.6	7.9		7.4
11 研修や教育への参加機会がある	13.8	19.3		15.9
12 仕事の負担が重過ぎない*	40.7	25.0	36.4	33.1
13 時間的に余裕をもって患者と接することができる	37.2	27.9	54.5	33.4
14 自分に割り当てられた仕事の内容や責任が明確である*	26.9	40.0	27.3	33.1
15 自分の仕事の目標や目的が明確である	15.9	18.6	18.2	17.2
16 自分のやりたい方法で仕事を行うことができる	13.8	15.0	18.2	14.5
17 仕事の方針や方法について自由に意見が言える	26.2	20.7	27.3	23.6
18 これまでに学んだ技能や知識を用いることができる	27.6	29.3	27.3	28.4
19 仕事にやりがいを感じる	26.9	30.7	18.2	28.4
20 職員の中に友好的な雰囲気がある	62.1	50.0	36.4	55.4
21 自分の行った仕事について上司や同僚から評価される	6.2	9.3	9.1	7.8
22 自分の行った仕事について患者や家族から評価される	37.2	35.7	27.3	36.1
23 患者や家族と継続して関わることができる	24.8	25.7	18.2	25.0

*個人、医療法人の間の差:p<0.05